

## 地方創生関連交付金事業（地域再生計画）の事後評価について

### 1 地域再生計画の名称（地域再生事業の名称）

敬師児童センターを活用した山上地区の拠点づくり計画  
（敬師児童センターを活用した山上地区の拠点づくり事業）

### 2 交付金の種別

地方創生拠点整備交付金

### 3 事業実施期間

地域再生計画認定の日（平成 29 年 2 月 24 日）から令和 3 年 3 月 31 日まで

### 4 総合戦略における位置付け

基本目標 4：（まち 地域づくり対策）

暮らしを支える環境と社会基盤を整備し、住みよい「まち」づくりを推進します

### 5 計画概要

少子化により保育事業が廃止された敬師児童センターを改築し、新たな山上コミュニティセンターとして幅広い世代が集う地域の基幹的な拠点施設とするとともに、施設内に観光案内ブースを設け、観光拠点として整備し、特産物を利用した紅花染めなどの体験型・着地型観光を展開することによって地域の魅力を体感してもらうような仕掛けづくりを行い、交流人口の拡大を図るほか、地場農産物や加工品を販売し、地域経済の活性化を図る。また、歴史街道整備や 6 次産業化などの地域おこしを行う「敬師の里未来づくり事業」を実施する。

### 6 実施事業及び主な成果

#### ① 米沢市

- 旧敬師児童センター改修実施設計及び同工事を行った。
- 山上地区観光案内パネル、山上地区観光案内マップ及び農産物直売ブースを作製し、新たなコミュニティセンターに設置した。
- 敬師のこころライトアップコンサートの開催を支援した。

#### ② 敬師の里未来づくり委員会

- 転作田にて紅花や菊、蓮を栽培し、生花や染料（紅餅等）として販売した。
- コミュニティセンターにて各種イベントを開催する際、地場農産物を棒杭市形式で販売した。
- 歴史街道を整備し、ウォークイベントを開催した。
- バスツアー等で訪問する観光客を、有志が観光ガイドとなって受け入れた。
- 四季を通して街に花を植え、花に囲まれた街づくりを行った。

## 【拠点整備交付金活用事業（円）】

	事業名 (事業主体)	事業概要・実績	総事業費 (うち交付金)
1	敬師児童センターを活用した山上地区の拠点づくり事業 (H29 実施) (社会教育課)	● 少子化により保育事業が廃止された敬師児童センターを山上コミュニティセンターとして改修し、山上地区における地方創生の拠点として活用する。	60,328,868 円 (28,271,352 円)

## 7 重要業績評価指標 (KPI) の達成状況と検証

## (1) KPI (重要業績評価指標)

## ① 山上コミュニティセンターの利用者数 (人)

年度	2015 (H27) 基準値	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	累計
実数	7,666	7,396	9,154	11,822	14,086	8,349	—
目標値		0	2,500	5,000	5,000	5,000	17,500
実績値 (累計)		▲270 (▲270)	1,758 (1,488)	2,668 (4,156)	2,264 (6,420)	▲5,737 (683)	683
評価		△	△	△	△	△	△

目標値及び実績値は各年度における対前年度増減数を示しています (以下同じ)。

◎=目標値以上、○=目標値の概ね8割以上、△=その他

## ② 観光ボランティアガイドによる受入客数 (人)

年度	2016 (H28.11) 基準値	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	累計
実数	400	500	550	869	1,230	0	—
目標値		0	200	600	600	600	2,000
実績値 (累計)		100 (100)	50 (150)	319 (469)	361 (830)	▲1230 (▲400)	▲400
評価		◎	△	△	△	△	△

## ③ 地場農産物及び加工品の売上金額 (千円)

年度	2016 (H28.11) 基準値	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	累計
実数	0	0	382	2,178	2,356	2,836	—
目標値		0	200	1,800	1,800	1,800	5,600
実績値 (累計)		0 (0)	382 (382)	1,796 (2,178)	178 (2,356)	480 (2,836)	2,836
評価		△	◎	○	△	△	△

## (2) 検証（達成度についての分析）

- 山上コミュニティセンターの利用者数については、令和元年度実績で 6,420 人の増と目標値を大きく上回る結果となった。これは、学童保育所の利用者や地域づくり事業の活性化により利用者が増加したものである。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため2ヵ月程度貸館を停止していたことや、各種事業を中止したため目標値を大きく下回る結果となった。
- 観光ボランティアガイドによる受入客数についても、きめ細やかで丁寧な対応により着実に数が伸び、令和元年度は目標を達成していたものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数の受入れを中止した。
- 地場農産物及び加工品の売上金額については、令和2年度実績で 2,836 千円の増と目標値を大きく上回る結果となった。これは、地元を挙げて推し進めている紅花の生産が着実に実を結び、出荷量・販売額を伸ばしていることが大きい。その他にも、地元産米を原料にした日本酒「敬師の里」や「敬師せんべい」など、地域づくり事業で開発した商品が売り上げを伸ばし、KPI 数値目標の達成を後押しした。

## 8 今後の方向性

- 山上コミュニティセンターの利用者数については、関根小学校の閉校や少子高齢化・人口減少により大幅な利用者増は期待できないが、地域づくり事業の更なる活性化により地域外から人を呼び込めるような仕組みづくりに力を入れていきたい。
- 観光ボランティアガイドによる受入客数については、新型コロナウイルス感染症の収束を待ちながら、アフターコロナの時代にお客様を受け入れる体制を継続・維持していきたい。
- 地場農産物及び加工品の売上金額については、特に紅花の栽培が軌道に乗ってきており、令和3年度には「最上川源流よねざわ紅花まつり」を開催するなど盛り上がりを見せている。今後は、現在の生産規模を維持しつつ、多様化する紅花の需要形態に対応しながら、持続可能な生産体制を整えていきたい。